

都市魅力創造戦略第2フェーズについて（提案メモ）

嘉名光市

観光（対処型）都市（の）計画 【都市魅力を基盤施策に】

- ・従来の観光政策の枠を超える（誘致・プロモーション、マーケティングにとどまらない）
- ・新しい都市への変貌、挑戦（チャレンジ）という現在進行形のドラマ自体が都市魅力
- ・観光が主要国際都市の基盤産業となる時代の都市づくり
- ・ホテル、民泊、観光交通政策・基盤、舟運の更なる活用、アトラクティブな都市
- ・まちづくり・都市計画・河川・公園等各種行政との強力な連動（含市町村）
- ・大阪市民、府民の豊かな日常との共存（かんまち事業、ライトアップ、公園、河川活用等々）

サンフランシスコ、サンアントニオ ニューヨーク、イスタンブール、ソウル バルセロナ パリ	観光 BID(Business Improvement District) 観光と都市産業共存型の土地利用、交通政策 官民連携による観光ショッピングと旧市街地再生 市民のイベントとの共存、人のための空間へ
---	---

- 大阪府下主要観光地での観光BIDの展開（エリアマネジメント団体への事業補助を核として、規制緩和・手続き迅速化等のパッケージ エリアマネジメント団体とホテル・観光業界とのネットワーク形成 ※現状はまちづくり組織とホテル・観光業界との関係は希薄なところが多い）
- 中之島公園、中之島 GATE 等での長期社会実験の常設化（もしくは数年単位の社会実験）への移行
- 都市再生特別地区の公共貢献投資による観光関連インフラ整備（中之島公園、中之島西部、OBP等）
- 都心観光都市ビジョンの立案（上記提案を包含した将来ビジョン+戦略の確立）
- 都心観光の交通シフト社会実験（舟運、コミュニティサイクル、巡回観光バス等へのシフトを誘導）（観光バス駐停車スペースと舟運との結節点の形成、社会実験+イベントの実施）（大阪城、中之島、大正）
- 都市魅力空間事業の拡大的展開（主要観光地からの歩道整備、河川沿い遊歩道、地域管理船着場・川床）
- 夜間イルミネーションのネットワーク化と府下主要地ライトアップ（大江橋・淀屋橋等）の顔づくり

府域・関西への展開（エリアの拡大） 【厚みある大阪・関西】

- ・世界遺産ネットワーク（京都・奈良・熊野古道・百舌鳥古市古墳群）
- ・日本遺産を含めた歴史文化周遊コンテンツを府下で展開し、ブランド化
- ・水と光のまちづくりを展開・拡大、サポート
- 水と光のまちづくり推進をサポートする府下の拡大ネットワークを形成（第1タームのノウハウを還元）
- 世界遺産（百舌鳥古市古墳群・熊野古道・奈良・京都等）と大阪都心をつなぐネットワークとしての歴史文化資源のブランド化「1500年歴史巡礼」（日本遺産、竹内街道、狭山池等々）
- 既存観光系事業（府下含む）の共通ブランディング

2020年・2025年のヤマ場づくり、キレイない話題づくり 【目が離せない大阪】

- ・大阪・光の都市博（2020年）のロードマップと準備（5年間）
- ・2020年に都心（世界トップレベル）・府下（広がり・厚み）の2つの展開
- ・2025年万博など各種大型案件との連動・有機的連携
- 府下全域で展開する光の都市博（2020年）（歴史文化資源のライトアップとイルミネーション）
- 実行委員会の組成（プロモーション・ブランディング・民間提案公募）

水と光のまちづくり 推進体制の充実とネットワーク化

- ・パイオニアとしての役割を担いつつ、観光都市計画の実現にむけたパイロット事業を展開
- ・地域・民間と連動した都市魅力の厚みづくり、拠点の充実、沿川まちづくりの展開
- ・府城市町村、民間企業等とのネットワーク拡大、観光局との連携強化

展開方策

- ・官民協働の推進体制の構築（エリア・対象の拡大に伴うネットワーク型展開）
- ・社会実験、マーケットサウンディング、民間提案など対話型、発展型の仕組み拡大
- ・突破・パイロット型から普及・ネットワーク展開型の仕組み・体制づくり
- 水と光のまちづくり推進会議を発展的に改組（推進会議+官民共同推進組織（府下自治体等含む）+観光業界を含めたネットワーク）
- 各エリアと協働で事業推進をサポート